

かわら版

今年度第1回目の永山地域連絡会を6月27日に行いました。今回は、「つながり」をテーマに地域の皆さんと話し合いをしました。皆さんからのご意見の中で、主な活動をご紹介します！

サポートセンター

2月に開始し、6月までに4件の依頼を頂いています。内容としては簡単なお掃除や物の移動等が中心です。サポーター2名で永山団地を支える為、活動しています。



永山団地名店街

5月に「さつき祭」を開催しました。今年はフリーマーケットを中心にミニパトやポンプ車の展示、豚汁や防災食の配布、消火器の模擬訓練を実施しました。今年度は子供が来たいと思える商店街作りを目標にし、地域の活性化に繋がるよう活動しています。



カレーの日

6月に第2回イベントを開催しました。雨天のうえ、地域の学校行事が重なり、前回より来客が少ない状況ではありましたが、100食の配布を行う事ができました。目標の食数には達しませんでしたので、今回の経験を次回に活かしていきたいです。



高齢者見守り相談窓口 (多摩市事業)

昨年度は5755の方が交流スペースに来所されました。相談者の多くは高齢者であるが、最近では子供からの相談も受ける事があります。また、人と人がゆるやかに繋がる地域活動やゆりのき保育園と共同で行っている活動もあります。



今年度第1回目の永山地域連絡会ではこれからの活動について様々な意見を出し合いました。参加者で意見を出し合う中で永山地域の今後を考える3つのキーワードが見えてきました。

挨拶を通した顔の見える関係作り

- ・地域の関係が希薄化しており、知人がいれば簡単に聞けるコンビニやバス停の場所を市役所に聞きに来る方がいる。
- ・お互い挨拶をすることから顔の見える関係をつくる事が大切と感じる。
- ・同じ棟に住んでいても顔の知らない人もいる。まずはお互い顔の見える関係を作らなくてはならない。
- ・挨拶をする事で子供と高齢者も顔見知りになれる。
- ・挨拶は大切だと思う。



気軽に集える居場所作り

- ・永山団地には西と東しか大きな集会所が無い。より近い場所に集まれる場所が必要。
- ・自治会と協力し商店街でも様々なイベントを開催していきたい。多世代交流はイベント開催時のポイントになると思う。
- ・スポーツや文化活動を通して地域で関わりを持てたらと思う。
- ・サロンを開催し、集いの場を作っている。



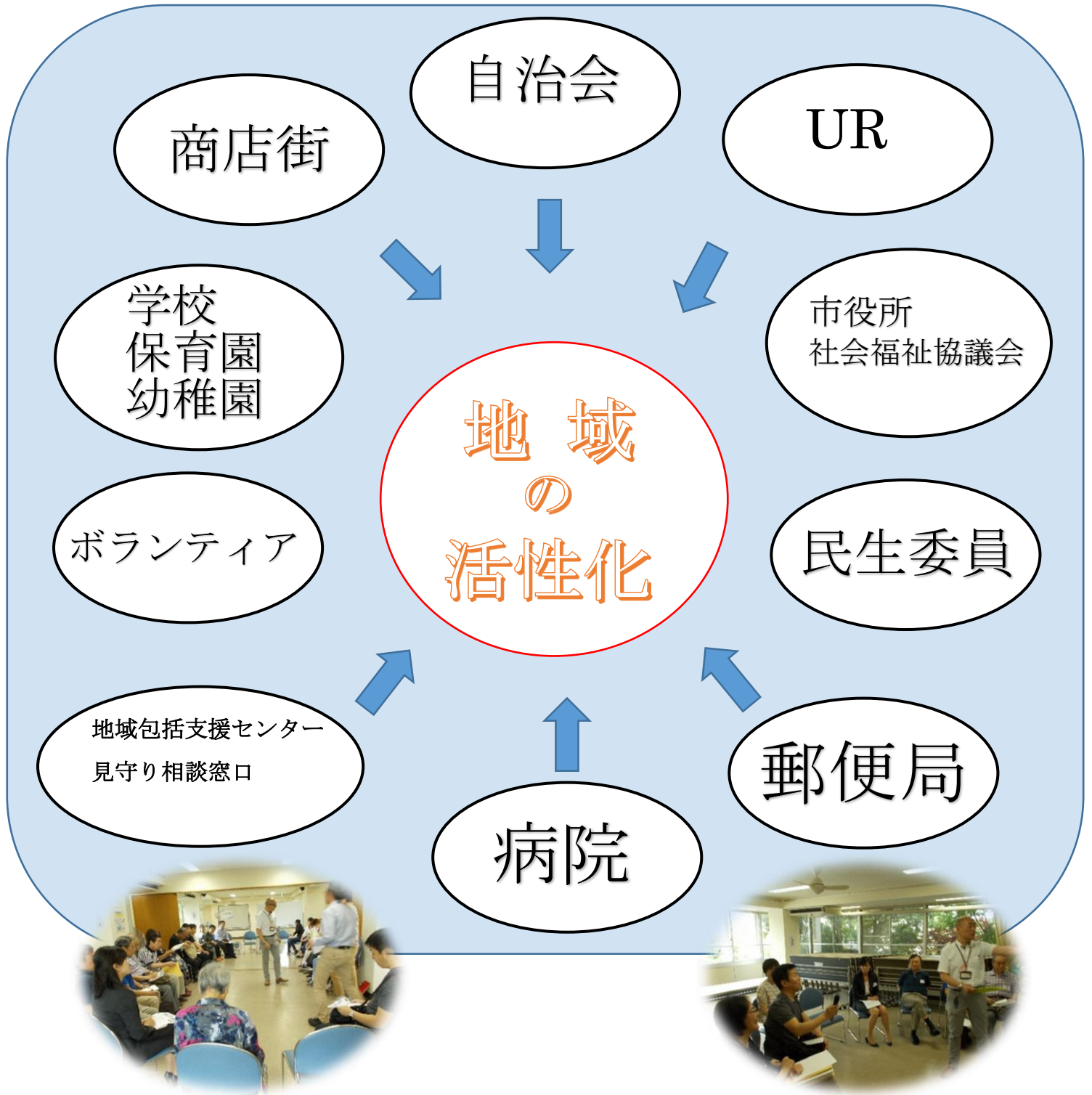
地域の活動を共有し、連携する。

- ・「カレー」、「多世代交流」に合わせて何か他のものを掛け合わせられたらと思う。
- ・皆さんが行っていることをまとめ、地域に発信していく必要がある。
- ・今まで積み重ねてきた連絡会の活動を一度再整理してもよいと思う。



今、始められること……

- 1 参加しているメンバーから日頃挨拶を行い、挨拶の輪を広げましょう。
- 2 各自で行っている地域活動を整理して、まとめていきましょう。



「いつまでも、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために」を目指し、地域をサポートするための活動について知恵を出し合っています。

次回、第2回の永山地域連絡会は以下の日程で開催予定です。

日時： 10月24日(木) 9時30分～ 11時30分

場所： 永山東集会所